

令和5年度 一ノ宮公民館（一ノ宮地域づくりセンター） 事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

学びの拠点と地域づくりの拠点の2つを両立させ、地域住民の学習意欲の向上と地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。また、令和4年度一ノ宮地区円卓会議参加者一同から提案のあった「区・組の役職・業務の改善会議」を実施することによって地域づくりの担い手不足の解消に向けた取り組みを進めるとともに、子どもからお年寄りまでの多世代から愛される公民館を目指します。

(2) 重点施策

- (1) 要求課題や必要課題の解決に向けた主催教室の企画・開催
- (2) 積極的な広報活動と地域情報の提供
- (3) 地域課題の解決を目的とした地域住民による主体的な活動の支援
- (4) 一ノ宮地区地域づくり協議会の運営支援や自立支援
- (5) 一ノ宮地区円卓会議を活用した多世代参画の仕組みづくりと地域課題の解決
- (6) 安心して安全に利用できるための施設管理と多世代が来館しやすい施設運営

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催共催
小学生	青少年教室	おもしろ科学教室	7月、10月	10人	2回	主催
		ミニお天気講座	8月	26人	1回	主催
	ものづくり学習	夏休み木工教室	7月	12人	1回	主催
青少年	青少年教室、世代間交流	高校生社会体験事業	6月～3月	72人	8回	主催
青少年～成人	環境講座	天文講座	8月、12月	47人	2回	主催
成人	ものづくり学習	ワクワク工場見学	8月、11月、3月	91人	3回	主催
	文化・芸能講座	一ノ宮スクール	7月、2月	54人	2回	主催
	健康講座	ストレッチ教室	5月～9月	80人	10回	主催

親子	子育て講座、家庭教育講座	子育て支援講座	5月～10月	34人	3回	主催
		地域子育てサロン	12月	14人	1回	共催
高齢者	芸能講座、高齢者学級	青空歌声教室	5月～12月	88人	8回	主催
地域住民	防災講座	地域消防体験	12月	27人	1回	共催
		地域防災講座	6月	24人	1回	共催

3 主な事業紹介

(1) 高校生社会体験事業～一ノ宮公民館まつり in2023～

①ねらい

若者目線で公民館まつりを企画することで、若年層のニーズを反映したイベントが展開でき、多世代が公民館を利用するきっかけづくりを行います。

また、高校生が主体的に企画・立案することで、社会人基礎力が身に付くとともに、郷土愛が育まれ、地域人材の育成に繋がると考えます。

②事業内容

令和4年度に高校生のアイデアで生まれた公民館まつりをベースに「2023年版公民館まつり」を高校生主体で企画・運営しました。

月1回のペースで打合せを重ね、令和5年12月10日にまつりを開催し、事前準備から当日運営まで公民館や地域づくり協議会と協力をして実施しました。

(2) 事業の評価・反省

事業に参加した高校生からは、「公民館のイメージが変わった」「この経験をこれからは活かしたい」など、前向きな意見が多く聞かれ、多世代に公民館を知ってもらうきっかけが作れたと思います。

また、一緒にまつりを運営した地域づくり協議会委員からも、「工夫された企画が素晴らしかった」「若い人と交流ができて良かった」などの意見が聞かれ、イベントの満足度は高く、まつりに参加された地域住民の方を含め、今後も継続を望む声が多数あがりました。

スケジュール調整や当日の運営等、苦慮した部分はありましたが、今年度の経験を活かして来年度はより充実したイベントが企画できるよう注力したいと思います。

4 今年度のまとめ（総合的な評価・反省）

評価	評価理由、主な取組、工夫した点、課題等
4	コロナ禍を経て、活発な公民館活動を再開できた。事業実施後はアンケート調査を行い、ニーズの把握をするなど、次の活動に繋がるよう心掛けた。また、公民館利用者が固定化されている状況があるため、多世代を対象とした主催事業を実施した。徐々に若年層の公民館活動認知度は上がっていると感じるが、未だに利用者固定化の課題は残っている。継続して多世代に向けて発信を続け、誰もが集う場所とできるよう注力したい。

◎評価の基準：5＝大変よくできた。4＝よくできた。3＝おおむねできた。
2＝あまりできなかった。1＝できなかった。